

3学期の始業式（1／6）から

各学年の代表生徒による「3学期誓いの言葉」では、飯倉優香さん（1－2）からは『自ら行動することを目標に学習も部活動も精一杯の力で頑張る。お世話になった先輩方への感謝を明るい挨拶などを通して伝えていきたい。2年生になるための準備として自立した学校生活に心がけたい』、加藤七瀬さん（2－1）からは『学年全体に学習へのやる気が出ていて雰囲気もよくなっている。家庭学習でも苦手な教科を集中してやりたい。部活動の準備を率先して行い、練習時間を有効に集中して練習ができるようにする。一人一人が黙働清掃への意識を高め、集中してできるようにしたい』、和田あずささん（3－2）からは、『3年間の集大成として、卒業式までに自分たちが経験してきたことや学んできたことを後輩に伝えていきたい。進路を決める受験では、今までの成果を発揮し、悔いの残らないように取り組んでいく。最高学年として責任のある行動をし、しっかりとした姿勢で最後を締めくくりたい』とそれぞれ力強く発表してくれました。

校長からは、次のような話がありました。

学校は、学ぶ場であり、自分自身を成長させる場です。なぜ、「学び」と「成長」なのか。それは、皆さんの夢と希望の実現や豊かな人生につながっていくからです。では、その場はどこにあるのか。日々の挨拶、朝の読書、授業、休み時間の友だちとの交流、黙働清掃、部活動、などなど、それぞれの場面での「学び」を大切にすることです。

昨年の卒業アルバムに「無限の可能性を信じて。これからもたくさんの『学び』と『成長』があるように」と書きました。皆さんには無限の可能性が 있습니다。それを、最大限引き出すために、日々の「学び」と「成長」を大切にしてほしい。

（始業式の校長の話から抜粋）